



5月22日、綾西小学校の児童が議場を見学しました

学校給食センター厨房機器の更新と高規格救急自動車の取得を全会一致で可決

6月定例会

6月定例会が、6月1日から6月19日までの19日間の会期で開かれました。この定例会では、令和8年度一般会計補正予算、綾瀬市立公民館条例及び綾瀬市自治会館条例の一部を改正する条例、動産の取得について、市道路線の廃止・認定、公共下水道事業受益者分担金の賦課決定処分に係る審査請求に対する裁決について、綾瀬市農業委員会委員の任命についてなど、市長から提出された27議案を審議し、それぞれ可決、異議ないもの、同意しました。議員提出議案では、意見書1件を可決しました。陳情は1件を趣旨不了承としました。また、5月臨時会が5月12日に開かれ、監査委員の選任など市長提出議案の4件を審議し、それぞれ同意、承認するとともに、新しい副議長や各常任委員会委員長などが決まりました。

6月定例会 議案の詳細



補正予算

一般会計(第1号)として、総額を579万8千円増額するもの、公共下水道事業会計(第1号)は、資本的収入及び支出を2670万円減額するもので、2議案をそれぞれ可決しました。

条例

綾瀬市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例をはじめとする2議案をそれぞれ可決しました。

市道路線の廃止・認定

道路の払い下げに伴う廃止1件と、道路の払い下げに伴い廃止した道路のうち、残された道路の認定1件、開発行為により帰属された道路の認定4件をそれぞれ可決しました。

動産の取得

学校給食センター厨房機器更新に伴う物品、高規格救急自動車を取得するもので、それぞれ可決しました。

諮問

○公共下水道事業受益者分担金の賦課決定処分に係る審査請求に対する裁決について

地方自治法第229条第2項の規定により、審査請求に対する裁決をするもので、異議ないものとするに決しました。

人事案件

○綾瀬市農業委員会委員の任命について

大塚功氏(小園)、金子美登里氏(小園)、古塩貞夫氏(吉岡)、小林裕季氏(吉岡)、田中亘氏(上土棚中)、

内藤眞一氏(早川)、新倉英孝氏(落合北)、橋本久男氏(吉岡)、早川新市氏(早川)、早川晴子氏(寺尾台)、比留川賢次氏(深谷中)、比留川啓行氏(深谷上)、峯尾晃氏(上土棚南)、森山謙治氏(早川)を再任、任命することに同意しました。

議員提出議案

○地方財政の充実・強化を求める意見書

増大する行政需要へ十分に応えることのできる財源確保を念頭に、積極的な地方財政の確立を強く求めるもので、可決しました。

報告

○令和7年度綾瀬市一般会計繰越明許費繰越計算書について

副議長就任あいさつ

令和8年5月臨時会において、副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。議長を補佐し、公正かつ円滑な議会

5月臨時会

副議長の選挙を行い、内山恵子議員を選出しました。また、議会運営委員会と各常任委員会、基地政策特別委員会の正副委員長を選任を行いました。(各委員会などの構成一覧は6ページに掲載。)

人事案件

○綾瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について
山田正志氏(小園)を再任することに同意しました。

○綾瀬市監査委員の選任について
武藤俊宏議員を選任することに同意しました。

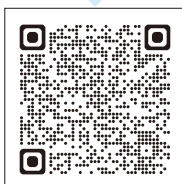


武藤 俊宏
議員

専決処分の承認

地方税法の改正に伴う綾瀬市市税条例及びアメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部改正、地方税法施行令の改正に伴う綾瀬市国民健康保険税条例の一部改正で、それぞれ承認しました。

5月臨時会 議案の詳細



市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。
6月定例会では、6月15日・16日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です。
(掲載は質問順、5ページまで続きます)
見出し下部の二次元コードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。



電子クーポン配布事業の評価を今後はどうつなげるか



岡 徳行

●電子クーポン「あやPOn」の受け取り状況について

Q デジタル弱者をデジタル社会へ誘導するきっかけとする狙いも込めて実施した当該事業をどう評価しているか。

A 早期の事業実施、個人IDの配布やコールセンター設置などにより、予測していた紙商品券の利用人数のうちデジタルへ移行する人数を想定程度に獲得でき、事業の効果が得られたと考えている。

Q 今後のデジタルツールを活用した行政サービス提供への留意点や抱負は。

A 行政への関心が比較的に若い若年層に対するアプリの調査研究のほか、デジタル弱者には達成感が得られる丁寧なデジタルバインド対策を講じていく。

●生理用品提供、配布事業の施策の広がりについて

Q 福祉的視点だけでなく、国の文書に基づく男女共同参画推進施策として、市民が受け取りやすくなるよう提供場所などを広げないか。

A 本市の配布事業は、利用者が必要な行政サービスを気軽に受けられるよう支援の



議員全員で、電池回収ボックス「アイゴミボックス」の利用説明を受けました

あやせ未来会議 安藤多恵子



全世代に影響をもたらすSNSの課題に対する所見は



●SNS問題への対処について

Q SNSは便利な反面、デメリットも多い。近視の子どもが増加、スマホ育児、スマホ中毒や犯罪への誘導などの懸念に対し、関係部署をはじめ、全市的な取り組みや注

意喚起が必要ではないか。

A デジタル社会への対応は、市長部局と教育委員会連携して取り組んでいる。今後もSNSとの関わり方に関して、啓発、リテラシーや健康など、さまざまな観点から対応を継続していく。

●国際化推進のための政策について

Q 多文化共生の推進に向け、日本語教室は、外国人市民の支援に最前線に対応している。教室充実のため、国や県に対する要望を強めないか。

A 教室の充実、国内全域の課題であると認識しており、令和9年度の要望では、外国につながる児童・生徒の受け入れ体制整備として、国県主体の事業展開を重点項目としている。

●スポーツ施設の在り方について

Q 近年のすさまじい暑さの中、熱中症予防のため、団体からの要望に対し、管理者としてどう対応しているか。

A スポーツ公園多目的広場などに、テントやタープを設置するなど、利用者の日陰確保に努めている。



市の未来ビジョンを実現する交通インフラ整備を



志政あやせ 金江 大志

●複合的な交通インフラの実現について

Q 都市像の実現に向けた交通インフラの位置付けは。

A 将来都市像を示す都市マスタープランでは、交通インフラは重要な基盤と位置付けており、住み続けたいまちを目指し取り組んでいる。

●BRT(※)の可能性

Q 導入する上での課題認識は。

A 速達性と定時性の向上が期待され、主要駅へのアクセス改善で利便性が高まると考えている。一方で、専用レーンの設置による、その他の交通への影響、導入や維持に係る費用対効果などを、課題として認識している。

Q ライドシェアの可能性をどう考えるか。

A タクシー不足を解消し、地域の貴重な移動手段として一定の効果があると考えているが、運行管理、ドライバーの確保や育成、利用者の安全安心の確保といった課題も存在していることから、国・県の動向を注視し、調査研究を進めていく。

Q Zipcarと本市の相性はどうか。また、事業者と研究会を実施しないか。

詳しい内容は会議録・HPで

ホームページ

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。

詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。

綾瀬市議会

検索

一般質問の用語説明

(※) BRT: BUS RAPID TRANSIT

(バス高速輸送システム)の略称

走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫を施すことにより、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステムです。



公職選挙法による 禁止行為

◇議員の寄付禁止
◇議員への寄付勧誘・要求の禁止

議員が市民に対し、お金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。

また、市民が議員に対し寄付を求めることも禁止されています。



各種情報伝達手段の特徴を生かし市民サービス向上へ



志政あやせ 古郡 敏正

●綾瀬市LINE公式アカウントの今後の運用方法と情報発信について

Q LINE登録者数の増加を、今後の事業展開にどうつなげていくか。

A 情報発信だけでなく、各種行政手続きの入り口として活用し、行政サービスの利便性向上を目指していく。

Q 災害時、災害情報の受信登録をしていない方へも強制的に情報を届けられるか。

A 災害情報など命に関わるものや全市民を対象とした案内は、ジャンル設定をしていない登録者を含め、配信することができる。

Q 広報あやせを月1回の発行へ変更した場合、情報発

信はどのように変わるか。

A 取材やデジタル媒体による発信に注力することで、内容の充実を図り、情報発信全体の底上げに努めていく。

Q デジタルデバイドの解消に向けた取り組みは。

A 現在60歳以上を対象にスマホ相談会を実施しており、今後は出張相談会の開催や、他市町村の事例を調査し対策を研究していく。

●市内の民地における樹木管理について

Q 管理不全樹木の予防的な取り組みを考えているか。

A 伐採などの補助を行う考えはないが、所有者に対し訪問や書面により適正に管理するよう指導を行っていく。



持続可能なまちづくりのため効果的な企業誘致策を



志政あやせ 笠間 功治

●将来のまちづくりを見据えた企業進出の考え方について

Q 落合・吉岡地区の土地区画整理組合設立準備会に対する支援の考え方は。

A 基本的には、周辺地域と調和した、物流倉庫を前提としない地域経済活性化に資する企業進出を促すとしており、市民の暮らしにつながるまちとなるよう支援する。

Q 現行条例が期限満了を迎えるが、企業立地促進に向けた新条例策定の考えは。

A 立地奨励金の上限額や



統合危機管理体制への再編で災害対応機能の強化を



志政あやせ 石井 麻理

●防災・危機管理体制の再編について

Q 受援計画と業務継続計画の連動による受援力の強化を考えないか。

A 業務継続計画を検討する際のシミュレーションで判明した、人的資源の不足を踏まえ受援計画を策定していることから、両計画を密接に関連させて、受援力を強化できるよう努めていく。

Q 被災者個々の生活再建を支援する災害ケースマネジメントを導入し、被災者個別支援窓口を設置しないか。

A 近年の自然災害の頻発化と激甚化から、避難生活が中長期に及ぶ被災者が増加していることを受け、被災者

個々の自立と生活再建を支援する取り組みが、国を挙げて推進されている。今回の地域防災計画の中に、総合相談窓口の設置を盛り込んでいることから、今後は設置の実現に向け検討していく。

Q 発災時以降の対応を防災行動計画で管理できるよう、防災関連4計画の統合危機管理体制を再編しては。

A 計画体系や危機管理体制の妥当性は、計画に基づく平素からの準備と訓練を行うことで問題点を抽出し、改善していくプロセスを経た上で判断できるものと考えていることから、まずは引き続き計画に基づいた準備や訓練に着手するよう努めていく。



生徒が安心して参加できる部活動の地域展開に向けて



公明党 三谷 小鶴

●市立中学校の部活動について

Q 休日部活動の地域展開をどのように進めていくか。

A 地域クラブとして実施、運営していくにあたり、学校や地域指導者などと連携し、持続可能な活動体制の構築を進めていく。

Q 保護者説明会で出た意見をどう受け止めているか。

A 説明会での意見を踏まえ実施する、地域クラブへの参加意向に関するアンケート結果から、拠点構想の検討をするなど、生徒が参加しやすい運営体制を検討していく。

●児童生徒の健康診断について

Q 小・中学校における健康診断未受診者の状況は。

A 令和7年度の状況は、小学校の未受診率は約3%、中学校は約7%である。

Q 未受診の児童・生徒に対し、医療機関にて無償で受診できるよう考えないか。

A 先進事例を参考に、学校や医師会の意見を聞き、調査研究を進めていく。

●子供たち等をSNSトラブルや犯罪被害から守る取組について

Q SNSトラブルや犯罪被害を防ぐため、学校でどのような教育を行っているか。

A 道徳や保健の授業で、不安やストレスへの対処方法のほか、周囲に対する相談の重要性を学習している。

Q 患者本人や家族から市に寄せられる相談の内容は。

A 身体障害者手帳の取得や利用できる障害福祉サービスなどに関するものである。

Q 指定難病患者に対する個別避難計画の作成状況は。

A 重度障害の方から作成しており、避難に必要な情報や配慮を記載している。

●災害廃棄物処理計画について

Q 本市の災害廃棄物処理計画の策定状況と内容は。

A 国の災害廃棄物対策指針による最新の推計方法を用いて、廃棄物発生量の推計見直しなどを行っている。

Q 大規模災害時に想定される災害廃棄物の発生量は。

A 都市南部直下地震で、9万7,000トン、大正型関東地震で、90万トンが発生すると想定している。市民が災害時に混乱な



災害廃棄物の適切な処理で市民生活の再建と復興を



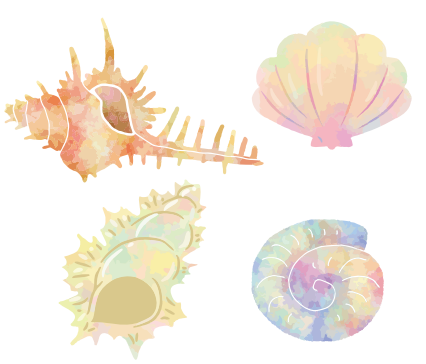
公明党 野田 広吉

●指定難病についての支援について

Q 本市の特定医療費（指定難病）医療受給者証の所持者数の現状と推移は。

A 令和8年3月末時点の受給者証所持者数は618人であり、高齢化や指定難病の追加に伴い、今後も所有者の増加が見込まれている。

Q 令和8年3月末時点の受給者証所持者数は618人であり、高齢化や指定難病の追加に伴い、今後も所有者の増加が見込まれている。



議会用語の三三知識

「本会議と委員会」

議会の会議には、大きく分けて本会議と委員会があります。

本会議とは、議員全員で構成する会議のことをいい、年4回3月、6月、9月、12月に開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。

議会は本会議に認められるもので、議会の議決、承認、同意などは、この本会議で行わなければならない法的な効力はありません。

これに比べ委員会は、議会の内部組織として、議員の一部をもって構成する会議のことをいい、議会の運営を協議する議会運営委員会の他に綾瀬市には、3つの常任委員会と基地区域特別委員会があります。これらの委員会は、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。





**地域や警察と緊密に連携し
防犯に強い綾瀬の構築を**



公明党 天笠 哲史

●防犯対策について

Q 防犯意識向上のための啓発活動の内容は。

A 市防犯協会が行う各キヤンペーンのほか、市公式LINE、安全・安心メール、市ホームページや広報あやせなどで啓発を行っている。

Q 市独自の防犯対策用ステッカーを作成し、希望者へ配布しないか。また、大和警察署と協力し、「大和警察署」と表示されたステッカーなどを配信、掲示しないか。

A ステッカーは安価な市販品もあるため、費用対効果を研究していく。また、ホームページなどへ掲載し印刷することでコスト削減が図られるため、効果を研究していく。



中東情勢の悪化を受けた食料自給に対する市の考えは



越川 好昭

●食料自給を高めることについて

Q 中東情勢の悪化により、ホルムズ海峡の封鎖などが発生し、食料とエネルギーの自給や安全保障の確立が、国民生活防衛と国家存立に向けた喫緊の課題となっている。食料自給を高めることに對する市の見解と、現在の取り組み状況は。

A 地産地消の推進や農地の保全などが食料自給の向上につながるかと考えており、これまで地産地消フェアの開催



市からの情報は本当に全ての市民に届いているか



あやせ未来会議 畑井 陽子

●誰も取り残さないDXと情報発信について

Q DXを推進する一方で、デジタル環境の利用に慣れない方を把握しているか。

A クーポン配布事業では約7割がデジタル利用を選択していた結果を、一つの目安として取り組んでいく。

Q SNSによる情報発信は有効であると考えているが、デジタルとアナログを組み合わせた情報へのアクセスをどのように保障しているか。

A デジタル媒体に力を入れる一方で、広報あやせなどのアナログ媒体による情報発信を継続しているが、将来的には、デジタルの割合を増やす必要があると考えている。



情報を受け取る側である市民リテラシーの向上を



成田 龍二

●市民の防災リテラシー向上について

Q 誤情報による混乱を避けるため市公式LINEの信頼性を高めるとのことだが、求める情報が届かなければ市民は自ら探すことになる。防災をより一層機能させるには市民の情報活用能力の向上も重要だ。届ける努力と活用能力は両輪のため、災害時に利便なツールの活用方法を広める人材が必要ではないか。

A 各自自治会の地域防災リーダーには防災意識の普及啓発の役割も期待している。今後、LINEやホームページによる防災情報の入手方法やハザードマップの見方なども啓発してもらうよう努める。

●歴史上初の教育基本法第14条違反による教育への影響は

Q 平和学習では、さまざまな見解の提示が求められるなど、論争性の扱いに変化が生じたと感じる。外部講師に依頼することも多い中、議論の偏りを防ぐためどのようにバランスを取ってきたのか。

A 平和学習に限らず、授業の中で児童・生徒が複数の考えや意見を主張し、教員からも提示するなどして、議論の偏りを防止している。外部講師を依頼する際は、担当者だけでなく、関係教員や管理職と相談して決定するプロセスを取っており、偏った内容にならないよう努めている。



市公式マスコットキャラクター「あやぴい」



市民が安全に通行できる自転車走行環境の整備充実を



志政あやせ 古市 正

●安全・良好な自転車走行環境の整備と、交通安全対策について

Q 車道通行の厳格化に対応するため、自転車の安全走行に向けた表示をしないか。

A 自転車の交通区分を明確化し、安全で効果的な走行環境の整備を推進していく。

Q ヘルメットの装着率を上げるため、購入補助金制度を再開しないか。

A ヘルメット装着の重要性を認識してもらうため、制限的に行なったもので、その重要

●子育て世代の就労支援と、児童の安全確保に向けた小学校における「朝の子供の居場所づくり」について

Q 通常の登校時間より早く到着した児童が、安心・安全に過ごせる「朝の子供の居場所」の必要性について、アンケート調査をしないか。

A ニーズを把握する手段はさまざまあり、タイミングなどを考え適切な手法をとる必要があるため、アンケート

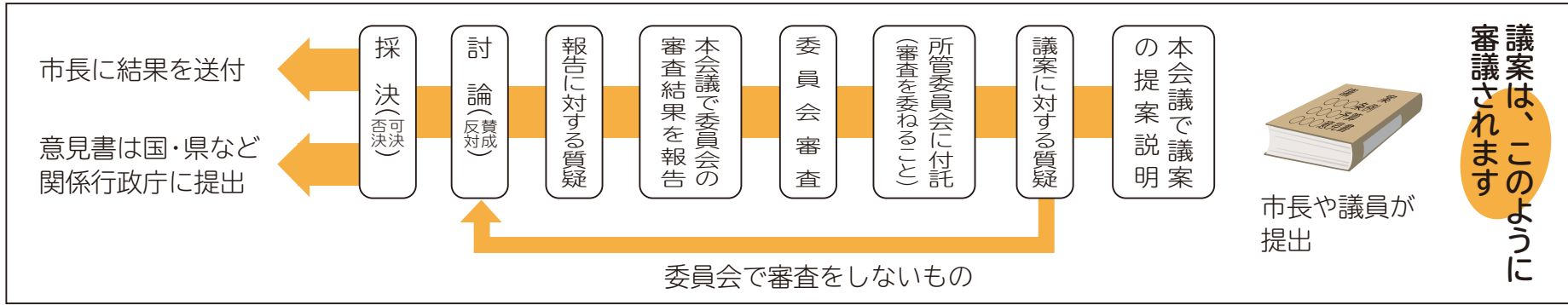
調査が適切であると判断した場合には、実施を考える。

Q 本市の子育て支援、児童の安全確保の観点から「朝の子供の居場所づくり」事業を試行導入しないか。

A 実施する場合、モデル校を選定し、問題の有無等を確認する必要があるため、関係部局と連携して判断する。



市の木「やまもみじ」





中学校給食費の無償化と
対象外世帯に対する支援を



日本共産党あやせ 上田 博之

●給食費無償化から取り残された子どもたちへの対応は

●厚木市の学校給食費相当額給付金のように、アレルギーや長期欠席などで給食を喫食しない子どもの保護者に
対し、支援をしないか。

●現在、支援を行う予定はないが、非喫食者の取り扱いに
対し標準的な判断基準を示すよう
国に要望していく。

●国の動向にかかわらず、令和9年度から中学校給食費無償化を実施しないか。

●地方自治体のみの財源では難しいことから、制度の
拡充を国に要望していく。

●自校式炊飯の場合、食
材費が1食約47円安くなる
が、導入を検討しないか。



地域経済を支える事業者へ
熱中症対策を支援しないか



日本共産党あやせ 福田久美子

●労働災害を予防できる熱中
症対策について

●市内事業者に向けた熱
中症対策の周知方法は。ま
た、対策に力を入れている事
業者を把握しているか。

●あやせ工場スマートナ
ビを活用し、チラシを掲載す
るなど周知を行っている。ま
た、調査などはしておらず、
事業者の把握はしていない。

●市内事業者に対し熱中
症対策の支援を考えないか。
●熱中症対策は事業者の
責任で実施するものと認識し

●光熱水費や人員配置な
ど多くの課題が想定されるた
め、導入する考えはない。

●在日米軍のイラン出撃への
見解と市内企業への影響は

●厚木基地の部隊も含め
た在日米軍のイランへの出撃
を、政府は「単なる移動」と
言い、日米間の事前協議は不
要と答弁している。これは詭
弁と考えるが、市長の政治家
としての見解は。

●政府答弁を評価できる
立場になく、外交・安全保障
は国の専管事項のため、答え
られることはない。

●資材不足の影響を受け
る市内企業を支援しないか。
●国や県の動向を注視し
必要に応じて対応していく。

●介護人材確保の取り組みに
おける課題は。また、人材
の確保と育成を両輪で実施
するための取り組みは。

●就職と定着に向けた一
体的な支援を進めているが、
未経験者の就職に対する心理
的ハードルが課題である。ま
た、職場での人材育成などが

●市独自で介護職の魅力
や情報を発信しないか。
●介護事業所で働く方々
の生の声を届けることが効果
的であると認識しており、実
施に向け検討を進めている。

地方自治法及び綾瀬市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、各会派に対して所属議員1人当たり月額12,500円の政務活動費を交付しています。

令和7年度における各会派の支出状況は表のとおりです。

なお、対象となる経費の範囲などは市ホームページをご覧ください。ただ、議会事務局に問い合わせてください。

令和7年度
政務活動費
会計報告

令和7年度政務活動費会計報告

(単位：円)

会派名 項目	志政あやせ	公明党	あやせ 未来会議	日本共産党 あやせ	住み良い綾瀬を つくる会	リベラル あやせ	参政党あやせ 市民に伝える会
交 付 額	1,050,000	600,000	300,000	300,000	150,000	150,000	150,000
調査研究費	745,592	183,531	0	21,453	0	0	0
研 修 費	0	123,704	378,260	101,208	75,112	0	0
広 報 費	158,366	0	0	116,725	148,177	101,178	135,748
広 聴 費	0	0	0	23,360	0	0	0
資料作成費	144,462	73,942	600	18,070	0	300	7,162
資料購入費	2,090	146,240	1,100	20,449	0	39,120	7,356
支出合計	1,050,510	527,417	379,960	301,265	223,289	140,598	150,266
残 額 (市へ返戻)	0	72,583	0	0	0	9,402	0

会派名簿

会 派 の 名 称		所 属 議 員			
志	政 あ や せ	古市 正 石井 麻理	武藤 俊宏 笠間 功治	齊藤 慶吾 古郡 敏正	金江 大志
公	明 党	三谷 小鶴	内山 恵子	天笠 哲史	野田 広吉
あ	や せ 未 来 会 議	安藤多恵子	畑井 陽子		
日	本 共 産 党 あ や せ	上田 博之	福田久美子		
無 会 派	住み良い綾瀬をつくる会	越川 好昭			
	リベラルあやせ	岡 德行			
	参政党あやせ市民に伝える会	成田 龍二			

(令和8年3月31日現在)

※令和7年度の各会派に所属していた議員名を掲載しています。

※会派の名称欄中、無会派欄に記載の会派名は、議会運営上の交渉会派を結成していない議員が、政務活動費の交付を受けるために届け出た会派名です。

6月定例会で可決された意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

現在、地方自治体は、急速に進行する少子高齢化や労働力人口の減少への対応をはじめとして、多岐にわたる行政課題に直面している。子育て支援、医療、介護など社会保障関係費の増大は自治体経営を圧迫しており、地域住民の安全・安心な暮らしを支える上で、地方自治体の果たす役割はかつてないほど重要となっている。

特に本市においては、綾瀬市総合計画2030の推進にあたり、スマートインターチェンジの開通を契機とした新たな産業拠点の形成や、中心市街地の活性化など、持続的な成長・発展に向けたにぎわいづくりの転換期を迎えている。しかしながら、中東情勢の緊迫化に伴う資源・原材料価格の高騰や、深刻な人手不足に伴う人件費の急増、公共工事等における入札不調が見られるなど、公共施設や社会インフラの老朽化に伴う大規模改修・建て替えなどに要する経費は、自治体財政にとってより深刻な負担となっている。

さらに、デジタル化への対応や脱炭素の実現に向けた環境対策、頻発化・激甚化する自然災害への備えなど、地方自治体に求められる業務や施策はますます多様化・複雑化している。このように地方自治体が担う行政需要は拡大の一途をたどっており、これら山積する諸課題に的確に対応し、地域独自のポテンシャルを生かした自立的なまちづくりを推進していくためには、安定的かつ十分な地方財政基盤の確立が不可欠である。

よって、国においては、令和9年度政府予算及び地方財政の検討にあたり、増大する行政需要へ十分に応えることのできる財源確保を念頭に、より積極的な地方財政の確立を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月19日

綾瀬市議会議長 齊藤 慶吾

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 あて

『意見書』とは

市民の皆さんからの要望や意見を、国政や県政に反映させるため、地方自治法第99条「議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。」との規定に基づき、国や県に対し議長が議会を代表して提出するものです。

市議会本会議の様子をインターネットで！

市議会では、市民の皆さんに議会の様子をお伝えするため、本会議のインターネット配信を行っています。

本会議中の議場の様子をそのまま公開する「ライブ中継」と、会議日程などから見たい場面を探すことのできる「録画中継」を配信しています。

タブレットやスマートフォンでも視聴できます。録画中継は、本会議終了後4日程度（土・日曜日、休日除く）で視聴できます。



インターネット中継
二次元コード

各常任委員会の所管事項

多岐にわたる行政の事務を能率的に調査・審議するため、委員会を所管ごとに設けています。

区 分	定 数	所 管 事 項
総 務 教 育 常 任 委 員 会	6	市長室、経営企画部、総務部、会計課、議会、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び教育委員会の所管する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
市 民 福 祉 常 任 委 員 会	7	福祉部、福祉事務所、市民環境部、健康こども部、消防本部及び消防署の所管に属する事項
経 済 建 設 常 任 委 員 会	7	産業振興部、都市部、土木部及び農業委員会の所管に属する事項

各委員会などの構成一覧

◎委員長 ○副委員長

区 分	定 数	氏 名
議 長	1	齊藤 慶吾
副 議 長	1	内山 恵子
議 会 選 出 監 査 委 員	1	武藤 俊宏
議 会 運 営 委 員 会	8	◎古市 正 敏正 古郡 敏正 天笠 哲史 武藤 俊宏 ○三谷 小鶴 笠間 功治 上田 博之 安藤多恵子
総 務 教 育 常 任 委 員 会	6	◎安藤多恵子 野田 広吉 上田 博之 ○石井 麻理 古市 正 武藤 俊宏
市 民 福 祉 常 任 委 員 会	7 (欠員1)	◎三谷 小鶴 笠間 功治 越川 好昭 ○福田久美子 天笠 哲史 齊藤 慶吾
経 済 建 設 常 任 委 員 会	7 (欠員1)	◎金江 大志 古郡 敏正 内山 恵子 ○岡 徳行 成田 龍二 畑井 陽子
基 地 政 策 特 別 委 員 会	9	◎笠間 功治 石井 麻理 越川 好昭 三谷 小鶴 上田 博之 ○古郡 敏正 野田 広吉 古市 正 畑井 陽子
議 会 報 編 集 委 員 会	7	◎石井 麻理 古郡 敏正 三谷 小鶴 福田久美子 ○天笠 哲史 成田 龍二 畑井 陽子
高 座 清 掃 施 設 組 合 議 会 議 員	5	古郡 敏正 金江 大志 齊藤 慶吾 野田 広吉 上田 博之
広 域 大 和 斎 場 組 合 議 会 議 員	3	笠間 功治 齊藤 慶吾 三谷 小鶴
県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 議 会 議 員	1	齊藤 慶吾

令和8年7月1日現在

配布に関する問い合わせ

市議会だよりの汚損・破損や配布漏れなど、配布に関するお問い合わせは、株式会社メディア・ソリューション・センターのポスティングコールセンター(☎0120-221-523、月～土曜日、午前9時～午後6時)へ問い合わせてください。

次号は、令和8年11月15日に発行予定です。

●

5月臨時会の審議結果一覧表

○ 賛成 ● 反対 ⊕ 退席

番 号	案 件 名	結 果 決 議 日		案件に対する賛否（◎会派の代表者）																	
				志政あやせ						公明党				あやせ 未来 会議	日本 共産党 あやせ	所 属 な し					
				◎古 市 正	武 藤 俊 宏	齊 藤 慶 吾	金 江 大 志	石 井 麻 理	笠 間 功 治	古 郡 敏 正	◎三 谷 小 鶴	内 山 恵 子	天 笠 哲 史	野 田 広 吉	◎安 藤 多 恵 子	畑 井 陽 子	◎上 田 博 之	福 田 久 美 子	越 川 好 昭	岡 徳 行	成 田 龍 二
第28号議案	綾瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	5月12日	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第29号議案	専決処分の承認について（綾瀬市市税条例及びアメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例）	承認	〃	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
第30号議案	専決処分の承認について（綾瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
第31号議案	綾瀬市監査委員の選任について	同意	〃	○	⊕		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（採決には加わりません）

請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果		
付託委員会	件 名	審 査 日 果
総 務 教 育	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	令和8年6月8日 趣 旨 不 了 承

市議会への請願や陳情

◆どなたでも提出できます

市民の皆さんは、身近で困っている問題について市議会にその実情を訴えることができます。これを請願や陳情といいます。

◆提出には、次のことに注意してください

・書式は《例》を参考に、日本語で簡潔にまとめてください。内容が2件以上にわたるときは、1件ごとに提出してください。

・請願（陳情）者が複数の場合は、代表者を決めてください。

・請願（陳情）は、必ず議会事務局へ持参してください。

・定例会初日前3日（土・日曜日、休日を除く）までに提出してください。郵送の場合は、請願（陳情）として受け付けることはできませんが、要望書として全議員に配付します。

・請願（陳情）者の住所・氏名は一般に公開されますので、あらかじめご了承ください。

《例》

〇〇〇に関する請願（陳情）
令和 年 月 日
綾瀬市議会議長
〇〇〇〇 殿
紹介議員
(署名又は記名押印)
請願（陳情）者
住所
氏名 〇〇〇〇 印
(氏名は署名又は記名押印)
趣旨
理由

※請願には1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。請願と陳情の違いなど詳しくは議会事務局に問い合わせてください。

※請願（陳情）者が数人連署する場合は全員の住所、氏名、押印（記名の場合のみ、署名の場合は不要）をお願いします。

市LINE公式アカウントで、あやせ市議会だよりの発行をお知らせします！

・市LINE公式アカウントに登録し、「広報」情報の受信設定をすることで、市議会だより発行のお知らせを受け取ることができます。
(2月、5月、8月、11月の15日／年4回発行)

・届いたお知らせから、市ホームページに掲載した市議会だより最新号へ、いつでも、どこでも、手軽にアクセスすることができます。

市公式アカウント

①メニューから「受信設定」を選択する。

②表示された入力フォームから「広報」にチェックを入れる。

市公式アカウント

受信設定

※この設定をしないと、情報が届かないので注意してください。

・市LINE公式アカウントを友だち追加済みの方も、同様の方法で受信設定を変更することができます。

議会の動き

29日
新潟県南魚沼市議会議員来市（高齢者社会参加促進事業について）

19日
日・議会全員協議会・議会（最終日）・議会全員協議会・議会（最終日）

16日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

15日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

10日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

8日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

5日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

4日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

1日
日・議会全員協議会・議会（最終日）

●6月
6月定例会本会議（初日）・議会全員協議会

25日
6月定例会本会議（第3日）

20日
6月定例会本会議（第3日）

●5月
5月定例会本会議（第3日）

7日
佐賀県唐津市議会議員来市（綾瀬市ステイクーポン事業について）

9日
厚木基地に関する要望書提出（防衛省ほか）

17日
議会全員協議会・議会編集委員会

29日
埼玉県坂戸市議会議員来市（綾瀬市高齢者社会参加促進事業について）

30日
31日 基地政策特別委員会行政視察（北海道千歳市・千歳基地）

3日
議会編集委員会

4日
議会運営委員会行政視察（岐阜県関市）

6月定例会の審議結果一覧表

○ 賛成 ● 反対

番 号	案 件 名	結 果 と 日		案件に対する賛否（◎会派の代表者）																	
				志政あやせ						公明党				あやせ 未来 会議		日本 共産党 あやせ		所 属 な し			
				◎古 市 正	武 藤 俊 宏	齊 藤 慶 吾	金 江 大 志	石 井 麻 理	笠 間 功 治	古 郡 敏 正	◎三 谷 小 鶴	内 山 恵 子	天 笠 哲 史	野 田 広 吉	◎安 藤 多 恵子	畑 井 陽 子	◎上 田 博 之	福 田 久 美子	越 川 好 昭	岡 徳 行	成 田 龍 二
第32号議案	綾瀬市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	6月19日	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第33号議案	綾瀬市立公民館条例及び綾瀬市自治会館条例の一部を改正する条例	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
第34号議案	動産の取得について（学校給食センター厨房機器更新に伴う物品）	〃	6月1日	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第35号議案	市道路線の廃止について（R1491）	〃	6月19日	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第36号議案	市道路線の認定について（R1491-1）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第37号議案	市道路線の認定について（R10-10）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第38号議案	市道路線の認定について（R17-2）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第39号議案	市道路線の認定について（R643-7）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第40号議案	市道路線の認定について（R818-5）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第41号議案	令和8年度綾瀬市一般会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○	※議長 （採決には 加わりませ ん）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第42号議案	令和8年度綾瀬市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第43号議案	動産の取得について（高規格救急自動車）	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第44号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	同意	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第45号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第46号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第47号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第48号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第49号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第50号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第51号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第52号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第53号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第54号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第55号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第56号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第57号議案	綾瀬市農業委員会委員の任命について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第1号諮問	公共下水道事業受益者分担金の賦課決定処分に係る審査請求に対する裁決について	異議ないもの	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○		
意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	〃	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

会期日程（予定）

9月1日(火)	本会議（議案審議）
2日(水)	本会議（議案審議）
7日(月)	市民福祉常任委員会
8日(火)	経済建設常任委員会
9日(水)	総務教育常任委員会
10日(木)	市民福祉常任委員会
11日(金)	経済建設常任委員会
14日(月)	総務教育常任委員会
16日(水)	基地政策特別委員会
18日(金)	本会議（一般質問）
24日(木)	本会議（一般質問）
25日(金)	本会議（一般質問）
29日(火)	本会議（委員長報告～採決）

9月定例会のご案内

あなたも傍聴してみませんか

・傍聴の際、希望の方には議案資料を貸し出します。
資料は10部限りですので、窓口での申し込み順となります。

・開会時間は午前9時、29日（火）は午前9時30分になります。

・日程や時間の変更することがありますので、議会事務局に問い合わせてください。

※手話通訳をご希望の方は、傍聴2週間前までに議会事務局にご連絡ください。

議会事務局 ☎0467-70-5644 FAX 0467-70-5706
✉wm.705644@city.ayase.kanagawa.jp

今後の予定 12月定例会 11月26日～12月16日
令和9年3月定例会 2月25日～3月23日